

第24回日口極東学術シンポジウムのご案内

秋の気配が感じられる季節となりました。皆様にはお元気でご活躍のことと存じます。さて、1984年以来、ロシア科学アカデミー極東支部を中心とする研究者や実務家との間で続けてきました、日口極東学術シンポジウムは、今年で24回目を迎えることになりました。

近年、比較的好調なロシア経済を反映して、日口間の経済関係は大きく変わろうとしています。しかし、その一方で、北東アジアの諸地域での政治情勢は、依然として不安定な状態が続いています。

このシンポジウムでは、このように変化しつつある地域に身をおきつつ、日口関係を含めて、東北アジアの政治・経済・社会に関わる諸問題をグローバルな視点から検討したいと考えています。

今回のシンポジウムには、ウラジオストクに本部をおくロシア科学アカデミー極東支部のセルギエンコ総裁をはじめ、同支部の歴史・考古学・民族学研究所、太平洋地理学研究所、ハバロフスクの経済研究所の主要メンバーを迎えます。

また、本シンポジウムは、前回と同じく、日口極東学術交流会と北東アジア・アカデミックフォーラムとの共催となります。

これまでのシンポジウムと同様に、率直な意見交換を行いたいと考えています。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

2008年10月

日口極東学術交流会

共催 北東アジア・アカデミックフォーラム

シンポジウム参加費(資料代を含む): 3000円 懇親会費: 5000円

[連絡先] 日口極東学術交流会事務局

632-8510 天理市杣之内 1050 天理大学国際文化学部 五十嵐徳子研究室気付
電話: 0743-63-7458

e-mail: n-igaras@sta.tenri-u.ac.jp または fujimoto@keiho-u.ac.jp

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/~kumo/nichiroindex.htm>

出席のご返事はメールまたは葉書で、懇親会出席の有無もご記入の上、11月26日までにお願います。

第24回日口極東学術シンポジウム・プログラム

日時：2008年11月29日(土)～30日(日)

場所：京都大学「百周年時計記念館」(市バス京大正門前下車)

時間：10:00～17:00

主催：日口極東学術交流会

共催：北東アジア・アカデミックフォーラム

報 告

11月29日(土)

1. セルギエンコ、ヴァレンティン・イヴァノヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部総裁、アカデミー会員)
「ロシア極東における学術・教育の現状と展望」
2. ラーリン、ヴィクトル・ラヴレンチエヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部・歴史・考古学・民族学研究所長)
「太平洋ロシアは実現するか? - “ウラジオストク突破口”の本質と結末」
3. コジェヴニコフ、ヴラジーミル・ヴァシリエヴィチ
(歴史研究所・上級研究員)
「将来の日口関係 - 楽観主義者、悲観主義者、そして...リアリストの見解」
4. トラーエフ、ヴァジム・アナトリエヴィチ
(歴史研究所・上級研究員)
「未来を選択する立場にある極東の先住民族」
5. ブルダコーヴァ、ヴァレンチーナ・エヴゲーニエヴナ
(ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所・学術交流組織部長)
「沿アムール地域における民族・種族社会の状況の社会学的様相」

討論予定者：藤本和貴夫氏(大阪経済法科大学) 岩下昭裕氏(北海道大学) 藤田整氏(大阪経済法科大学) 阪本秀昭氏(天理大学) 伊賀上菜穂氏(大阪大学) 木村崇氏(京都大学)

懇 親 会

18:00～

カフェレストラン「カンフォーラ」(京都大学本部構内)

11月30日(日)

1. バクラーノフ、ピョートル・ヤーコヴレヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部・太平洋地理学研究所長、アカデミー会員)
「ロシア極東地域の社会経済発展戦略における資源利用の諸問題」
2. レンジン、オレグ・マールコヴィチ
(ロシア科学アカデミー極東支部・経済研究所副所長)
「アジア・ロシアに対する経済戦略 - 極東地域の発展とアジア太平洋地域への統合」
3. デヴァーエヴァ、エレナ・イブラギーモヴァ
(経済研究所・極東地域・国際間経済関係部長)
「ロシア東部地域における対外貿易共同行動の構造」
4. アントーノヴァ、ナターリヤ・エヴゲーニエヴァ
(経済研究所・上級研究員)
「極東地域における林業コンプレックスの再編」

討論予定者：宮本勝浩氏(関西大学)、溝端佐登史氏(京都大学)、雲和広氏(一橋大学)、
堀江典生氏(富山大学)

すべての報告・討論は日本語とロシア語に通訳されます。

報告の順序が入れ替わる場合があります。